

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	森林整備課長 前島 和弘	電話番号	0852-22-5173
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	林業種苗供給事業		
目的	(1) 対象	苗木生産者	
	(2) 意図	優良な種苗を安定的に供給し、造林者の需要に応える。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長に優れた苗木の増産を進めるため、苗木生産者に対し経営規模拡大を図るための機械導入や施設整備等の支援を行う。</li> <li>優れた特性を有している林木の種穂を供給するために、優良品種の選抜・改良、整枝剪定、結実促進等の保育管理を行う。</li> <li>マツノザイセンチュウに抵抗性があると思われるマツに対し、マツノザイセンチュウを接種し、抵抗性の有無を検討する。</li> </ul>		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	
式・定義	県内生産苗木供給率	実績値	79.50	62.80	70.10	63.60		%
		達成率		62.80	70.10	63.60		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値	0.00	0.00				
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率	0.00	0.00				%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	25,825	27,418
うち一般財源(千円)	16,874	20,189

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

苗木生産量は近年80万本台を維持しているが、伐採跡地の再植林のための苗木需要量が今後増加してくる中、平成26年度は、127万本の県内需要に対して約81万本と6割程度の供給に留まっている。優良苗木の安定供給に向け、生産体制強化対策を早急に講じる必要がある。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

苗木生産量は、近年80万本台を維持している。平成26年度は、4事業体が国庫補助事業を活用して、トラクタ、床替え機等の導入、コンテナ苗生産を進めるための施設整備を行った。また、苗木生産者に対して、技術講習会や現地指導を実施するなど、苗木増産に向けた取り組みを行った。これにより、増産に向けた体制は強化された。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- 苗木生産者数の増加が緩やか
- 種子穂の採取量や発芽率・発根率が低下

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 苗木生産者の高齢化、後継者不足
- 採種圃園の老朽化

### ③原因を解消するための「課題」

- 森林総研等の関係機関と連携し、需要の平準化に努めることが必要
- 苗木生産用機械の導入、得苗率を高めるための生産指導の継続及び新規苗木生産者の確保が必要
- 再整備による採種圃園の若返りが必要

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

生産者が計画的に苗木生産を行えるよう、需給調整協議会を通じ中長期的な需給見通しについて情報収集に努めるとともに、森林総研等の関係機関と連携し、需要の平準化を図る。苗木生産用機械の導入による苗木生産の効率化、生産コストの縮減を図る。また、新規生産者の確保に努めるとともに、技術指導により得苗率を向上させる。次代検定林調査結果をもとに島根県の推奨品種を選定し、苗木生産者や植栽事業者へ提示する。この品種をもとに採種圃園の再整備を図り、質・量とも安定した種子穂を生産者に提供し、優良苗木の生産増加につなげる。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）